

3 本機の基本操作

3.1 用紙のセット

用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

注記

トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

補足

- プリンターがジョブを処理している間は、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。
- 用紙を用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙のくっつきをなくして、紙詰まりを起こしにくくします。
- 当社推奨紙の使用をおすすめします。使用条件によっては正しく印刷できない場合があります。

参照

詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「セットアップ」を参照してください。

用紙トレイ 1～2

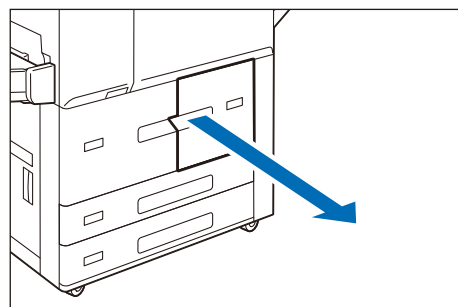
用紙トレイ 1（左側）、2（右側）は、給紙方法が同じです。

セットした用紙の下面が印字面になります。

セットできる用紙

用紙サイズ	定形サイズ	最大	A4、レター
		最小	JIS B5
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	52～216	
セット可能枚数 (枚) (EP 紙)	トレイ 1	1,200	
	トレイ 2	1,800	

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



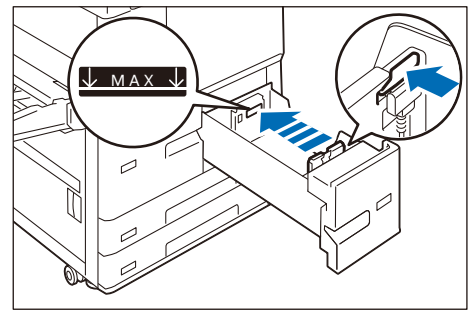
3. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。
4. 用紙をさばき、印字面を下にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。



5. 用紙トレイを押し込みます。

特殊用紙のセット

穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が左側

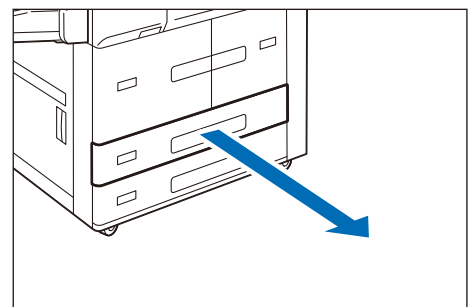
用紙トレイ 3～4

用紙トレイ 3 (3 段目) ～ 4 (4 段目) は、給紙方法が同じです。
セットした用紙の下面が印字面になります。

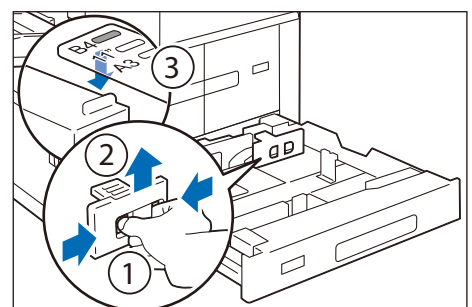
セットできる用紙

用紙サイズ	定形サイズ	最大	SRA3 (320×450 mm)、 12.6×19.2" (320×488 mm)
		最小	A5
	非定形サイズ (mm)	140×182 ～ 330×488	
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	52 ～ 216	
セット可能枚数 (枚) (EP 紙)		600×2 トレイ	

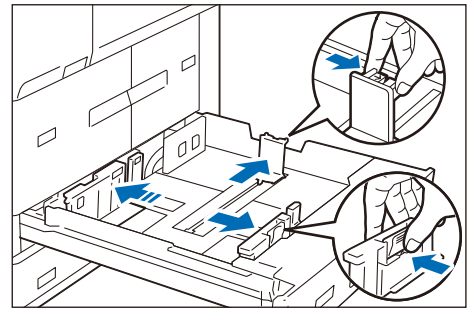
1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



3. JIS B4 以上のサイズの用紙をセットするときは、用紙後端ガイドのつまみを挟んで持ち上げ、表示されたサイズの穴に取り付けます。



4. 2か所のガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。



5. 用紙をさばき、印字面を下にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



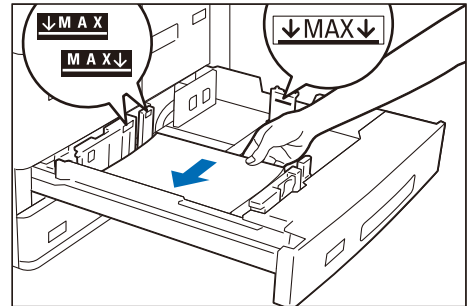
注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



補足

ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。



6. 用紙トレイを押し込みます。

特殊用紙のセット

穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が左側

インデックス用紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが右側

用紙トレイ 5（手差し）

用紙トレイ 5（手差し）では、用紙トレイ 1～4 で使用できないサイズや種類の用紙も使用できます。セットした用紙の上面が印字面になります。

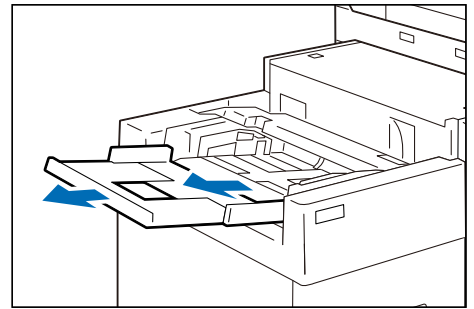
セットできる用紙

用紙サイズ	定形サイズ	最大	SRA3 (320×450 mm)、 12.6×19.2" (320×488 mm)
		最小	郵便はがき (日本郵便製)
	非定形サイズ (mm)	100×148 ~ 330×488	
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	52 ~ 350	
セット可能枚数 (枚) (EP 紙)		280	

1. 用紙トレイ 5 (手差し) を開きます。

補足

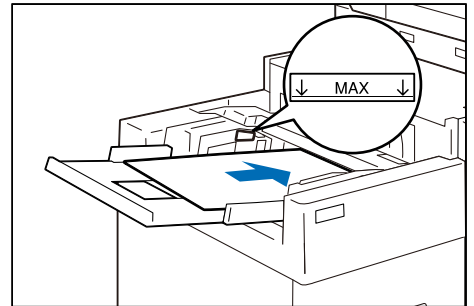
必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは、2段階に引き出せます。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。



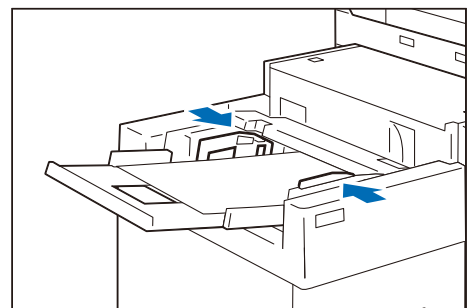
2. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記

用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



3. ロックをつまんで用紙ガイドをスライドさせ、用紙サイズに合わせます。



特殊用紙のセット

穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

はがき

用紙の向き：よこ置き

インデックス用紙

用紙の向き：正面に向かって、タブが右側

3.2 原稿のセット



複合機モデルだけの機能です。

原稿送り装置

セットできる用紙

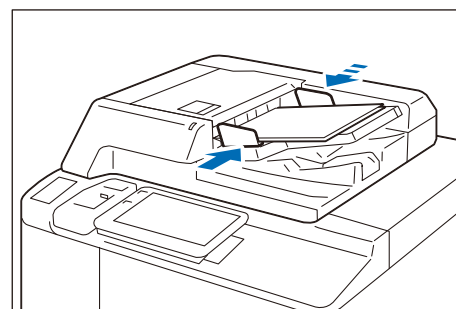
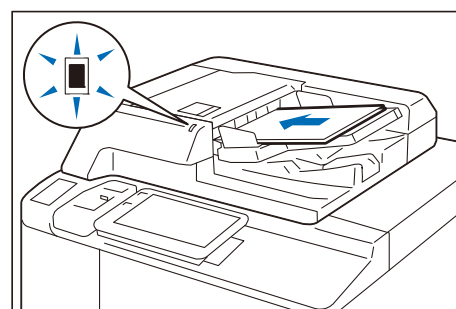
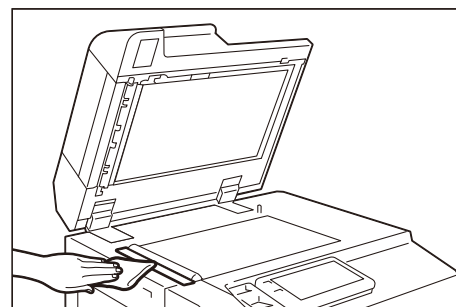
用紙サイズ	定形サイズ	最大	A3、11×17"
		最小	A6
	非定形サイズ (mm)	84×140 ~ 297×432	
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	38 ~ 200	
	両面時	50 ~ 200	
セット可能枚数 (枚) (EP 紙)		250	

1. 原稿カバーを開きます。
2. 原稿ガラスの左側にある、細長いガラスと白いプラスチック部分の汚れをふき取ります。
3. 原稿カバーを閉じます。
4. 原稿にフセン紙やテープ、ホチキスやクリップなどがついていないことを確認し、しわや折りが付いている原稿はきちんと伸ばします。
5. 正しく原稿サイズを検知できるように、原稿の左上の角をそろえます。
6. 読み取り面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

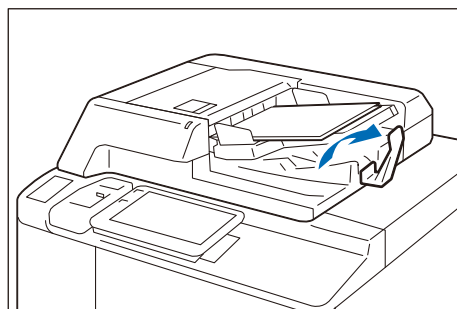
7. 確認ランプが点灯したら、原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



8. 原稿受けストッパーを開きます。



原稿の取り忘れを防止するため、スキャン完了後に「原稿送り装置のお知らせライト」が点灯し、約3秒後に消灯します。

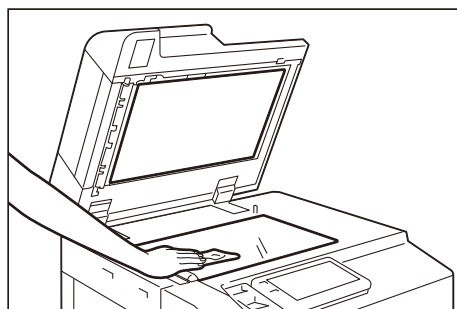


原稿ガラス

セットできる用紙

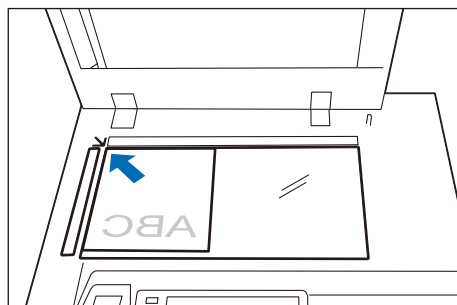
用紙サイズ (mm)	たて	～ 297
	よこ	～ 432

1. 原稿カバーを開き、原稿ガラスの汚れをふき取ります。



2. 読み取り面を下に向けて、原稿ガラスの左上の角に合わせて原稿をセットします。

3. 原稿カバーを閉じます。



3.3 用紙の排出

印字面

印字面とは、片面出力時に印字される面（両面出力時の1ページ目）のことです。

おもて面排出では印字面が下向き、うら面排出では印字面が上向きにトレイに排出されます。

		片面出力 / おもて面排出	両面出力 / うら面排出 (用紙反転プリント)
用紙サイズ (mm)	たて	100 ～ 330	140 ～ 330
	よこ	148 ～ 488	182 ～ 488
用紙坪量 (g/m ²)		52 ～ 350	52 ～ 220

長尺用紙

	片面出力 / おもて面排出	両面出力 / うら面排出 (用紙反転プリント)
用紙サイズ (mm)	488 超～ 660	488 超～ 660
用紙坪量 (g/m ²)	64 ～ 216	

トレイ容量

オフセットキャッチトレイ

用紙サイズ：最大 297×432mm	500 枚
--------------------	-------

補足

- 次の条件によって、トレイ容量は異なります。
 - 用紙サイズ、用紙坪量
 - 用紙の種類の違い (コート紙や非コート紙、用紙カール量など)
 - 片面 / 両面
 - 像密度

オフセット

用紙をずらして分けやすく排出されます。

オフセット排出は、プリンタードライバーで設定します。

用紙サイズ (mm)	たて	170 ～ 297
	よこ	148 ～ 488
用紙坪量 (g/m ²)	52 ～ 350	